

鎌倉山は何度も登った山である。数年前に鎌倉山から北に伸びる尾根を辿り葛川町居町に下った。P 895mあたりにはブナ林があり、自然林が多く残され、読図にも面白いコースであった。今回は鎌倉山の南に横たわる長い尾根を歩くことにした。

坊村から葛川に架かる橋を渡り、水神社の付近に車を止めて歩き出す。カマクラ谷沿いに少し進むと、左岸に痩せ尾根があるのでそれに取り付く。暫くは植林帯の中の急斜面が続く。イワカガミの花が咲き、イヌブナの淡緑の幼葉が下向きに揺れて縁取りの産毛が何ともかわいい。標高 520m 辺りにある林道を越えると自然林が増え、登山道も穏やかになる。

ブナ平は標高 660m 辺りだが、現在ブナは全く見られないようだ。休憩後再び西に向かう。穏やかな散歩道を歩くと、やがて杉の植林帯となり踏み跡が不明瞭になる。道が急斜面になると冬枯れの自然林に変わり、タムシバの白い花が青空に映える。

鎌倉山の山頂付近は広い台地状で、踏み跡が多く進行方向を確かめて進む必要がある。山頂から西南方向に進と、間違えて踏み込みそうな横向きの尾根が現れるが慎重にコースを選んで進むと、P 901m の近くに千年杉と呼ばれる大木がある。

本日の下山予定の尾根分岐点の手前のピークで昼食。穏やかで長閑な雰囲気のある広場ではタムシバの花盛り。小鳥も多く鳴き声が辺りに木霊している。食事後南に進み国境尾根から離れて南東に進むと、カマクラ谷源流域にタムシバの巨木があり、陽光を受けて真っ白に輝いているのは圧巻。

国境尾根を離れ北東に向かう。東尾根の地形は複雑で面白い。自然林が豊かで明るく、マメザクラの花が多い稜線である。途中 P 950m に寄り道をして散歩気分で行くが、地形図と睨めっこで歩く。読図を欠かせない地形の連続である。

P 940m の北斜面にはブナが多く残されている。この 940m から南東方向にある少ピークから北東に向かう不明瞭な尾根を探し当てると、顕著なヤセ尾根になる。尾根の北斜面にはイワウチハの群生地が点在しており随分楽しめる。

やがて標高 650m 付近のブナの交じる自然林の穏やかな台地に出る。この台地からの下山ルートの発見は慎重な読図が必要である。私達が選んだルートは、豪雨などで斜面が抉られて出来たと思われる崖や急斜面があり、地形図の表現とは随分変化しているように感じたので、標高 550m からの下山コースは別ルートを選んで下る必要がある。

★メンバー 三鍋他 4 名 ★コース 水神社 8:21～林道 8:50～ブナ平 9:10 発 17～鎌倉山 10:06 発 15～P 920m 10:50 発 11:18～P 950 11:39～P 940m 12:03 発 7～650m 台地～水神社 14:00